

2008 年度第 2 期
第 4 回 糖尿病お薬相談室

糖 尿 病

今回は皆様からよくある質問にお答えします

薬剤部 中村 敏史

2008 年 10 月 30 日発行



患者Aさん 63 歳元タクシー運転手

糖尿病を予防するお薬はないのかね？

残念ながら、糖尿病を予防するお薬はありません。日頃から食べ過ぎに注意し運動不足を解消するのが一番の予防となります。飲酒や早食いをやめることも予防になりますよ。



患者Bさん 38 歳会社員(営業)

糖尿病は薬を飲むだけで治るんですよねえ？
接待も多いし、仕事も毎日遅いもんで運動する時間もないんだわあ…

痛み止めや解熱剤のように都合よくはいかないんです。いくらいい薬やインスリンを使っても、食事療法と運動療法を守らないと効果が期待できないばかりか悪化することもありますよ。



患者Cさん 42 歳専業主婦

ねえ糖尿病の薬を飲み始めたんだけど一生続けるの？

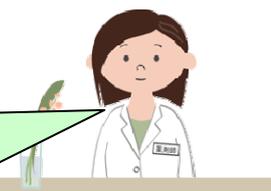
糖尿病とは一生付き合っていかなければならないので、基本的にはずっと飲んでいかなければいけません。但し血糖コントロールが良くなれば、先生と相談して薬を減らしたりやめる場合もありますよ。



患者Dさん 57 歳社長(土木業)

糖尿病の薬をジェネリックにしたいけど大丈夫か？

ベイスン®のジェネリックのボクリボース®「サワイ」の様に効果の同等性が証明されている糖尿病薬もありますが、ほんの一部ですので慎重な対応が必要です。



当院薬剤部では、近隣の調剤薬局と連携し、退院後の患者様をサポートしていく薬薬連携を行っています。お気軽にご相談ください。

糖尿病と食事



お酒（アルコール）は飲んでダメ？

お酒は昔から「百薬の長」と呼ばれ、少量のアルコールは血栓を溶かしたりストレス解消になったりするなど、健康に役立つ場合があることは知られています。しかしながら、次のような点が問題になるため、糖尿病の人には当てはまりません。

1. 指示エネルギー量を守りにくくなる
2. おつまみが高血圧を招く
3. 中性脂肪が高くなりやすい
4. アルコール性低血糖の危険

肝臓での糖新生が抑制されたり、アルコールの分解が優先されて薬の作用が強まって低血糖になる恐れがあります。

（周囲の人からはひどく酔っ払っている状態と間違われ、処置が遅れると危険）

5. 肝機能障害をまねきやすい

◆ お酒を飲む時の心得 ◆

1. 適量を守り、休肝日をつくりましょう

日本酒なら1合、ビールは1缶（350ml）、焼酎水割りは1杯、ワインはグラス2杯までが目安です。

原則として禁酒が望ましいですが…
お酒を飲む場合は主治医とよく相談し、必ずその指示を守りましょう！

2. 食事と一緒に飲みましょう

○おすすめのおつまみは？

冷やっこ、枝豆、刺身、野菜サラダ、おひたし、酢の物など、低カロリー、高たんぱく、ビタミンのとれる食品がおすすめです。



×適さないおつまみは？

唐揚げ、フライドポテト、ソーセージなど、脂肪・塩分を多く含む食品は避けましょう。



次回 第5回 運動で生活習慣病(糖尿病など)を予防しましょう リハビリテーション科
2008年11月10日配付予定
この内容は、名古屋掖済会病院ホームページでもご覧頂けます。

えきさいかい

検索



unite for diabetes

11月14日 世界糖尿病デー